

毎年恒例!



今年も
十回早く買うのよ?



天下の暴論²⁰¹⁵ Part

〈教授の皆様へ〉 × 〈バレンタインデー〉

最近、講義中に、私語、内職、スマホいじりなどをする学生が増えてきたと思いませんか? 自分の話も聞かずにこのような行為に勤しむ輩の存在に頭を痛める教授も多いかと思えます。そこで今回はそういう学生達を講義に集中させることができる簡単な方法を紹介したいと思います。しかし、なにも「おもしろい授業をやれ。」とか、そんな無理なことを申しあげるともりはございませぬ。もっと簡単なことです。それは...

手話で講義をやれ!

手話で講義を行うのです。レジュメやP7ポも使用してはいけません。すべて手話でやして下さい。そうすれば学生は教授の手話を解読するのに忙しく、授業中に私語、内職、スマホいじりをするヒマなどなくなるでしょう。他にも学生が就活する際、履歴書の〈特技〉欄に「手話」と書くことができ、他大の学生と差をつけることができるかもしれない、というメリットがあります。どうでしょうか? 早速四月から手話で講義、はじめてみませんか?

今年もこの季節がやってきた。小学生のころ好きだったユキちゃんにチョコを貰うために一日中あそをつけていたら、クラスの中心人物であるいじめっこの染井にチョコを渡している瞬間を目撃してしまった、という経験のある私にと、バレンタインデーは忌まわしい行事である。だいたいかの日がどん引き日であるかを染井のような争かれた俗物どもは知らないであろう。2月14日というのはクローン羊ドリーの命日である。人類の知の発展に大きく貢献し、さらに今日まで続く生命倫理の問題をも提起したドリーが命の灯を燃やし尽くした日。そんな日に一日中怒で立っていた私と、肥えた豚のような醜い笑顔を満面に浮かべながらユキちゃんと手をつないで帰った染井とでは、どちらが正しいのかは一目瞭然だ。

バレンタインなんか廃止しろ!!!!

不謹慎だ。2月14日はドリーを偲び、各小売店に営業の自粛、弔旗掲揚を義務づけるべきだ。ドリーの死を汚いチョコレートによって汚してはならない。

☆早稲田食食は創刊35周年を迎えました。(1978年創刊) ☆